

10月 15日号

市報

さが

(昭和26年2月24日)
第3種郵便物認可発行所 佐賀市役所
佐賀市神野町331の3番地 〒840
電話代表 ②43151番
発行人 市長公室長
(定価 3円)

市民の憲章

わだのまち佐賀はわだの心
わたのまちつくらもの
住む人々も人育むゆくもの
みんなのしわざのために詩り
と責任をもつて
一おおらかで自由な感じのよ
ふんじ気をつくります
一美と風景をかしつける力がある
まつづりとすすめましょう
一広視野で明日をうくる産業を
育てましょ



打球を追うまなざしも真剣です

—市民体育祭ゲートボール大会—

盛りあがるゲートボール熱

気軽さが人気の秘密

最近、だれにでもできるスポーツ、「ゲートボール」がたいへん盛んに行われるようになりました。ここ「金立いこいの家」でも「ゲートボール」のコートを常設し、いこいの家へやつてこられるおとしょりの方たちに、いつでもゲートボールを楽しんでいた。また、市内各地でゲートボール大会が行われておられます。そこで、今は、ゲートボールのルール（規則）について、もっと良く理解し

④第1ゲートのみ、一撃での通過させること。
⑤ゲート通過のみ、一撃で通過させなければなりません。

⑥自分が打った球が、他の

球

を

取

り

て

いた

く

こ

と

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

ま

し

た

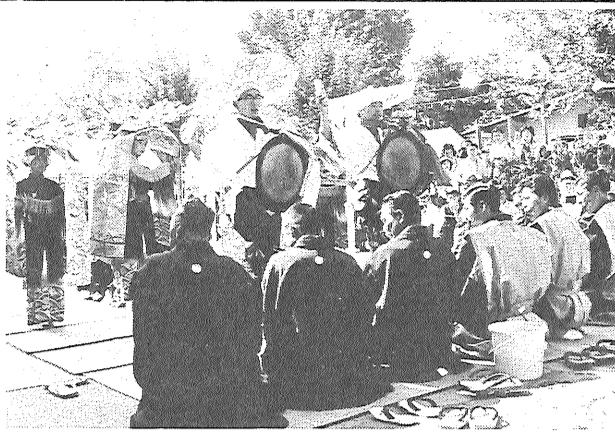
ま

し

た

ま

昭和52年10月15日



第25回県郷土民芸まつり

勇壮な舞いをひろう

十月九日、市内中央大通りで県内から十五の民俗芸能が集まって、「県郷土民芸まつり」が開かれました。

歴史と伝統にはぐくまれた民俗芸能が次々にひろう

ました。

され、力強い演技に集まつた人たちから拍手がわき起

こりました。

民芸まつりは、県内各地に伝わる民俗芸能を、広く県民に知つてもらおうと行

われているものです。

佐賀市からは、「白鬚神社の田楽」(久保泉町)と

「越後浮立」(玄蕃・流)

(鍋島町)が出演しました。

白鬚(しらひげ)神社の

田楽は、今から千年程前(平安末期)新しい農業技術を持った一団が京都近くから佐賀へやつて来て、川久保に住みつき、その子孫が毎年正午ごろから、「丸祭」という昔ながらの祭典に引きつづいて「田楽」を神に

祀る習わしがあります。

今でも毎年十月十八日、十

月十九日は、12時30分まで

土曜日は、12時30分まで

平日は8時30分~17時、

12月4日(日曜日)

まで

受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

未満までに引き上げられて

います。一期終了後、年齢

制限のため、二期目の接種

を受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

満の幼児に制限されていた

年齢が、法の改正で、当分

まつり」が開かれました。

歴史と伝統にはぐくまれた民俗芸能が次々にひろう

ました。

され、力強い演技に集まつた人たちから拍手がわき起

こりました。

民芸まつりは、県内各地に伝わる民俗芸能を、広く県民に知つてもらおうと行

われているものです。

佐賀市からは、「白鬚神社の田楽」(久保泉町)と

「越後浮立」(玄蕃・流)

(鍋島町)が出演しました。

白鬚(しらひげ)神社の

田楽は、今から千年程前(平安末期)新しい農業技術を持った一団が京都近くから佐賀へやつて来て、川久保に住みつき、その子孫が毎年正午ごろから、「丸祭」という昔ながらの祭典に引きつづいて「田楽」を神に

祀る習わしがあります。

今でも毎年十月十八日、十

月十九日は、12時30分まで

土曜日は、12時30分まで

平日は8時30分~17時、

12月4日(日曜日)

まで

受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

未満までに引き上げられて

います。一期終了後、年齢

制限のため、二期目の接種

を受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

満の幼児に制限されていた

年齢が、法の改正で、当分

まつり」が開かれました。

歴史と伝統にはぐくまれた民俗芸能が次々にひろう

ました。

され、力強い演技に集まつた人たちから拍手がわき起

こりました。

民芸まつりは、県内各地に伝わる民俗芸能を、広く県民に知つてもらおうと行

われているものです。

佐賀市からは、「白鬚神社の田楽」(久保泉町)と

「越後浮立」(玄蕃・流)

(鍋島町)が出演しました。

白鬚(しらひげ)神社の

田楽は、今から千年程前(平安末期)新しい農業技術を持った一団が京都近くから佐賀へやつて来て、川久保に住みつき、その子孫が毎年正午ごろから、「丸祭」という昔ながらの祭典に引きつづいて「田楽」を神に

祀る習わしがあります。

今でも毎年十月十八日、十

月十九日は、12時30分まで

土曜日は、12時30分まで

平日は8時30分~17時、

12月4日(日曜日)

まで

受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

未満までに引き上げられて

います。一期終了後、年齢

制限のため、二期目の接種

を受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

満の幼児に制限されていた

年齢が、法の改正で、当分

まつり」が開かれました。

歴史と伝統にはぐくまれた民俗芸能が次々にひろう

ました。

され、力強い演技に集まつた人たちから拍手がわき起

こりました。

民芸まつりは、県内各地に伝わる民俗芸能を、広く県民に知つてもらおうと行

われているものです。

佐賀市からは、「白鬚神社の田楽」(久保泉町)と

「越後浮立」(玄蕃・流)

(鍋島町)が出演しました。

白鬚(しらひげ)神社の

田楽は、今から千年程前(平安末期)新しい農業技術を持った一団が京都近くから佐賀へやつて来て、川久保に住みつき、その子孫が毎年正午ごろから、「丸祭」という昔ながらの祭典に引きつづいて「田楽」を神に

祀る習わしがあります。

今でも毎年十月十八日、十

月十九日は、12時30分まで

土曜日は、12時30分まで

平日は8時30分~17時、

12月4日(日曜日)

まで

受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

未満までに引き上げられて

います。一期終了後、年齢

制限のため、二期目の接種

を受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

満の幼児に制限されていた

年齢が、法の改正で、当分

まつり」が開かれました。

歴史と伝統にはぐくまれた民俗芸能が次々にひろう

ました。

され、力強い演技に集まつた人たちから拍手がわき起

こりました。

民芸まつりは、県内各地に伝わる民俗芸能を、広く県民に知つてもらおうと行

われているものです。

佐賀市からは、「白鬚神社の田楽」(久保泉町)と

「越後浮立」(玄蕃・流)

(鍋島町)が出演しました。

白鬚(しらひげ)神社の

田楽は、今から千年程前(平安末期)新しい農業技術を持った一団が京都近くから佐賀へやつて来て、川久保に住みつき、その子孫が毎年正午ごろから、「丸祭」という昔ながらの祭典に引きつづいて「田楽」を神に

祀る習わしがあります。

今でも毎年十月十八日、十

月十九日は、12時30分まで

土曜日は、12時30分まで

平日は8時30分~17時、

12月4日(日曜日)

まで

受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

未満までに引き上げられて

います。一期終了後、年齢

制限のため、二期目の接種

を受けられなかつた方は、この機会にぜひ受けるよう

にしてください。

満の幼児に制限されていた

年齢が、法の改正で、当分

まつり」が開かれました。

歴史と伝統にはぐくまれた民俗芸能が次々にひろう

ました。

され、力強い演技に集まつた人たちから拍手がわき起

こりました。

民芸まつりは、県内各地に伝わる民俗芸能を、広く県民に知つてもらおうと行

われているものです。

佐賀市からは、「白鬚神社の田楽」(久保泉町)と

「越後浮立」(玄蕃・流)

(鍋島町)が出演しました。

白鬚(しらひげ)神社の

田楽は、今から千年程前(平安末期)新しい農業技術を持った一団が京都近くから佐賀へやつて来て、川久保に住みつき、その子孫が毎年正午ごろから、「丸祭」という昔ながらの祭典に引きつづいて「田楽」を神に

祀る習わしがあります。

今でも毎年十月十八日、十

月十九日は、12時30分まで